

# すみた 議会だより



No.158

平成29年  
7月28日



「エールよ届け…  
にぎやか運動会」

《世田米保育園》

6月議会で決まったこと ②

我が町政を問う（7議員が一般質問） ④

**議員活動報告** ⑫

特集「地域づくり活動支援」 ⑭

## 制定

## こざっぱり条例



△松日橋周辺 — 「こざっぱり条例」の手本。住民協働で草刈りや桜の植栽などの整備が進む。

- かねてから議会で「森林・林業日本一」を目指す町に相応しい周辺環境整備が必要であることを訴えてまいりました。
- 今議会で「こざっぱり条例」が制定されたことは、本町の美しい自然を後世に守り伝えていく第1歩となります。
- 条例の概要  
(基本理念)
- 1. 里山の置かれた自然環境や社会的状況に配慮した保全を図る。
- 2. 責務を明確にし、それぞれの立場から積極的に里山の景観保全に向けた活動を行う。
- 3. 里山の景観保全に向けた活動と理念を持続させるための人材を育成する。

6月定例会は、

6月13日から16日までの

4日間の会期で開かれました。一般質問には7議員が登壇し当局と論戦を交わしました。その後、平成29年度補正予算案審議、専決処分の承認、こざっぱり条例及び木工館に関する条例の制定、農業委員の任命同意などを審議し、全議案を原案のとおり可決しました。

## ☆平成29年6月補正予算の主な事業

■小さな拠点づくりファシリテート研修業務 委託料57万円	■住民交流拠点施設落雪防止用屋根設置工事費 97万円
■住民活動支援交付金（ふるさと納税指定寄付） 477万円	■飲料水施設整備費補助金 1600万円
■農林会館排煙設備改修工事費 238万円	■きのこ原木等処理事業委託料 3261万円
■五葉集会センター屋根葺き替え工事費 552万円	■家畜導入事業資金供給事業費補助金 27万円
■奨学資金貸付金 223万円	■木工館工作機械費購入費 89万円
■自治公民館等運営費補助金 127万円	■コミュニティ助成事業補助金（外館甚句） 210万円
	■災害復旧事業費補助金 32万円





# 木工館

## 指定管理

△木工館 — 指定管理者移行により今後の活用が期待される

### 木材工芸の製作・展示に

町は今回、木に関する知識の普及向上と認識を深めるため、「木材工芸の製作や展示」を行う場として、町木工館を指定管理者に当該施設の管理を行わせることができる条例を制定した。

●指定管理者が行う業務

1. 設置目的に沿った情報発信や地域の活性化の創出
2. 施設の維持及び管理運営に関すること。
3. 施設の利用許可に関すること。
4. 利用料金の収受に関すること。
5. その他付随する業務

#### 木工館

##### 担当課はどこに

農政課商工観光が担当

**問** 1時間当たりの使用料は、9〜17時が525円、17〜21時が630円（機械器具の使用含む）。公共施設

**答** 設に寄付する場合はどうか。

**答** 適宜協議して行く。

**問** 今までは保健福祉課が担当してきたが、今後はどこが担当するのか。

**答** 木いく推進などの点から農政課商工観光が担当する。

**問** 木工工作機械購入費約90万円の内容は。

**答** 横切り機械、研磨機、プレス機、糸のこ盤を購入予定。

**問** 木工館、今後の利活用をどう図って行く。

**答** 指定管理者で木工工作品を作り、それを体験する場なども考えられる。

**な** 点 **ファシリテート委託とは**

**小** 抛 **支援員の能力向上**

**問** ファシリテート研修業務委託の内容、目的、対象は誰か。

**答** 小さな拠点づくりで地域の意見調整を図る集落支援員を対象に、ファシリテート能力を身につける研修会を3回予定。

**田** 民 **臨時職員の業務は**

**住** テレ **テレビ活用を調査計画**

**問** 地域情報通信推進費の臨時職員配置の業務とねらいは。

**答** 住田テレビ開局から10年経過。今後の基盤整備、テレビ活用方法を調査計画づくりのため臨時職員を雇用する。

**放射能** **汚染原木処理は**

**1** 年で焼却処分

**問** 原発事故による放射能汚染したけ原木の処理は。

**答** 当初2年間での処理を1年での処分になった。県内企業で焼却処分する。

**民** 動 **支援交付金の内容は**

**住** 活 **95%の交付**

**問** 住民活動支援交付金の内訳は。

**答** ふるさと納税で住民活動団体への指定寄付をしたものが対象。指定寄付のあった団体へ95%を交付する制度で今回3団体へ交付する。

**健** 生 **現任教育の内容は**

**保** 衛 **新任期の指導**

### 臨時議会5月26日招集

#### 消防住田分署新築工事の請負契約を可決

住田分署の新築に伴う工事の請負契約を締結することについて可決しました。

○契約金額

4億7952万円

○請負者

佐武建設・住田住宅産業・山崎工業特定共同企業体

○工事場所

住田町世田米字川向地内

**奨学金** **増額理由は**

**対** 象 者 の 増

**問** 地域保健従事者現任教育指導員の内容は。

**答** 退職保健師などが育成トレーナーとなって、採用後おおむね3年以内の新任期の保健師の指導を行うもの。

**問** 貸付額が増額になった理由と貸し付け対象者の内訳は。

**答** 当初貸付予定5名が7名になった。返還免除制度創設が大きな要因。4年制大学が3名、短大1名、専門学校が3名。

**問** 社会へ出て10年位キャリアを積んだ有為な人も返還免除の対象とすべき。

**答** 返還免除制度の在り方は、今後も検討する。

解説 ▶ ファシリテート：グループによる活動が円滑に行われるように支援すること。特に、組織が目標を達成するために、問題解決・合意形成・学習などを支援・促進すること。

# 一般質問

6月  
定例会

# 我が町政を問う

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針など所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点を質すこと。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。

一般質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は、答弁を含めて60分です。

6月定例会では、7人の議員から16件の一般質問が行われ、町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

質問と答弁を要約した内容は、5ページから11ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、8月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

## 研究開発校指定「地域創造学」・ 小さな拠点づくりなどで論戦

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
5	佐々木 信 一	①昭和橋の整備 ②教育環境の整備
6	瀧 本 正 徳	①小さな拠点づくり ②地域創造学を町づくりに ③庁舎・町民ホールの管理
7	佐々木 春 一	①国民健康保険の県移管 ②研究開発校指定による地域創造学 ③多田町政4期16年の総括
8	佐々木 初 雄	①昭和橋の架け替え ②自殺防止対策
9	菅 野 浩 正	①公共交通施策 ②小さな拠点づくり
10	村 上 薫	①多田町政の総括 ②社会教育施設の整備・充実
11	林 崎 幸 正	①県道釜石住田線の改良整備促進 ②温泉施設の整備





議員のつぶやき

昭和橋、今年も夏祭り、花火大会楽しみだね。

## 町長／観光的な

## 視点を踏まえて

# 町並みと調和する

# 新昭和橋を



△新昭和橋 蔵並みと街並みとの調和をどう図るか

**町長** 町道ネットワークの考え方、中心地域活性化構想によるまちづくりとの整合性、庁舎周

**建設課長** デザインは、現在の形の意見も多くあった。そのほかには木製の橋など、観光的な視点を踏まえて、基本的には中心地域活性化構想に沿う形で、それらを総合して考えて行く。

**問** 昭和橋の意見交換会では、新昭和橋は2車線で歩道を求める意見が多く出されたが。

**町長** 現在は防災安全を基本とし、議会や意見交換会からの意見、要望をいた

**問** 新しい橋のあり方とデザインは、町としてのどのように考えているか。

## 中学校の統合は

## 現段階では考えていない



△森林環境教育の一環として保育園児が種山で体験学習

**問** 文部科学省研究開発校に指定され、新設教科「地域創造学」の研究に着手するが、取り組み内容は。

**問** 中学校の統廃合をすべきと思うが。

**教育委員長** 小学校から高校までが一貫して、新設教科となる地域創造学の12年間、教育課程と指導方法及び評価方法の在り方などの研究開発に取り組み。

**教育委員長** 本町が提言する中高一貫校設置要望の今後の展開への影響も考慮する。本年度から文部科学省の研究開発校の指定を受け、今後4年間の研究成果を参考とし、教育の方向性を検討していく。現段階においては中学校の統合は考えていない。

**問** 生徒数の減少により学校行事や部活動などに影響が出ているが。

**教育委員長** あくまでも子供たちの教育環境を整備するという考え方の中心であり、義務教育を受けるにふさわしい環境整備が求められる。それぞれ歴史や伝統を培ってきており、世田米中学校では木工工作の全国レベル、有住中学校では、陸上を中心とした伝統、これらをどう維持していくかが課題である。



議員のつぶやき

庁舎内全面禁煙の時代と思うがな…

# 小さな拠点づくりは

## 町長／当事者意識の醸成を図りながら



△活動の拠点 地区公民館（大股地区公民館）

**問** この町の将来のあり方を見据えた、「小さな拠点づくり」施策の成否は、住民の参加体制づくりにあると思うが。

**町長** 地域協働組織として、住民の主体性が発揮できるものとするため、地区公民館単位、役員などの主体的就任、全住民が構成員となれ、規約があるなどの4要件がある。今後、拠点運営会議を重ね、住民に身近で役立つ仕組みを育てる。自分たちの課題とし、当事者意識の醸成のために話し合いの場が大事である。

**問** 世田米地区は、他地区

**町長** 地域協働組織として、住民の主体性が発揮できるものとするため、地区公民館単位、役員などの主体的就任、全住民が構成員となれ、規約があるなどの4要件がある。今後、拠点運営会議を重ね、住民に身近で役立つ仕組みを育てる。自分たちの課題とし、当事者意識の醸成のために話し合いの場が大事である。

**問** 企画財政課長 現状に課題もある。よりよく進めるために、広く意見を交わしながら一緒に進めたい。

**問** 町民ホールなどは各種イベントや災害時の避難所として活用されているが、湯沸しや水を飲む場が無く不便である。喫煙室を廃し、給湯室などにすべきと思うがどうか。

**町長** ホールなどを避難所とした場合は職員が対応する。飲料水はペットボトルで。催事にはポットなど茶器の貸し出しを行う。トイレ

器の貸し出しを行う。トイレ

## 地域創造学で町づくりを オール住田体制を構築



△「地域創造学」研究開発学校（学校の授業風景）

レの手洗い施設の活用で対応する。喫煙室は来訪者などへの配慮の面から設置した。当面、給湯室への改修計画はない。

**問** 研究開発学校指定「地域創造学」の、小・中・高の取り組みに併せ、この良き機会を町づくりに生かすべきと思うが。

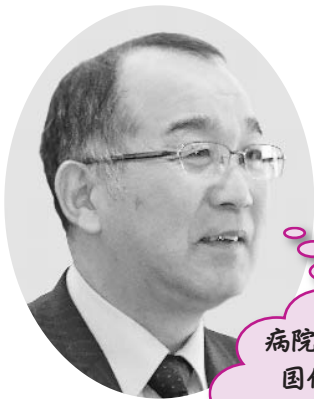
**教育委員長** 住田町を題材とした新設教科となる地域創造学は、今後の地域社会を開く人材育成研究であり、オール住田の研究体制を構築し進める。

**問** 町民の共通理解の元

**町長** 研究開発が始まり第1期4年の初年度、計画段階である。その都度情報発信し、情報を共有しながら進める。場の提供は町全体、町民であり、町にあり人的、物的資源、歴史的財産などを活かし、協力をうけながら、町全体のものとし、町づくり、地域活性化に生かしたい。

**その他の質問** 庁舎周辺整備、草刈りなどを職員で。





病院に行く前に、  
国保の負担が  
本当に重い。  
心の叫び届いて…。

議員のつぶやき

# 県移管 国保税の負担軽減を

## 町長／激変緩和措置の情報収集

我が町政を問う

佐々木春一 議員

### 県内市町村別の保険税額試算

市町村名	1人当たり年額	平成27年度との比較
盛岡市	117,539	9,699
宮古市	129,795	21,584
大船渡市	133,180	17,730
奥州市	97,926	▲22,161
花巻市	105,719	6,079
北上市	109,039	10,349
北上市	107,190	▲5,282
遠野市	102,325	▲2,717
一関市	101,907	▲9,348
陸前高田市	145,858	43,389
釜石市	128,186	37,435
二戸市	103,289	▲3,448
八幡平市	109,673	▲11,733
滝沢市	118,548	▲15,306
栗石町	128,755	▲25,508
葛巻町	127,568	▲7,656
岩手町	119,737	▲49,634
紫波町	115,847	18,673
矢巾町	142,992	26,341
西和賀町	116,102	▲21,147
金ヶ崎町	105,391	3,157
住田町	128,668	6,789
平泉町	97,439	▲7,781
大槌町	132,492	10,783
大山町	117,308	2,262
岩泉町	108,912	▲5,527
田野畑村	126,193	▲309
普代村	100,301	▲6,153
軽米町	109,179	▲6,524
洋野町	122,183	▲8,038
野田村	132,031	8,311
九戸村	98,894	12,726
一戸町	116,302	▲60,849
県平均	113,937	6,004

※国の資産に基づく県試算。平成27年度分は一般会計からの繰り入れなどをせず全て保険税で賄ったと仮定した金額。▲はマイナス

**問** 医療保険改革法による国民健康保険の都道府県化が示され、平成30年度から県に移管される。岩手県では、県内市町村の保険税額の試算を公表した。今でさえも高くて納めるのが大変だといふなかでの、さらに高くなる試算税額をどう捉えるか。

**町長** 県の試算では、平成27年度と比較して1人当たり6789円増となっている。あくまで試算段階であり、激変緩和措置や国の公費支援の変動要因が多く、情報収集に努め検討する。

**問** 国保の被保険者は、年金生活者などの無職と非正規労働者などの被用者が世帯の多くを占めている。被保険者の負担軽減を図るべきだが、

### 地域創造学のねらいは

#### 地域社会の人材育成

水準が高く、所得水準が低いことから、保険料の負担が懸念される。保険料率の算定基礎となる医療費の削減を目指していく。

**問** 子育て世帯の国保税負担も重く、子供に係る均

**町長** 医療保険改革法による国民健康保険の都道府県化が示され、平成30年度から県に移管される。岩手県では、県内市町村の保険税額の試算を公表した。今でさえも高くて納めるのが大変だといふなかでの、さらに高くなる試算税額をどう捉えるか。

**町長** 県の試算では、平成27年度と比較して1人当たり6789円増となっている。あくまで試算段階であり、激変緩和措置や国の公費支援の変動要因が多く、情報収集に努め検討する。

**問** 国保の被保険者は、年金生活者などの無職と非正規労働者などの被用者が世帯の多くを占めている。被保険者の負担軽減を図るべきだが、

**問** 地域創造学を実施する。地域創造学の展開は、

等割保険料の軽減措置を実施すべき。

**町長** 子育て世帯の負担軽減は、国の制度による。町としては、子ども医療費の無料化を高校生まで実施していることから理解を頂きたい。

**問** 文科科学省研究開発学校の指定による、地域創造学の取り組み内容は、

**教育委員長** 本年度から小学校2校と中学校2校、住田高校の5校が研究開発学校の指定を受け、12年間、一貫した新たな教科となる

**問** 期待される教育効果は、

**教育委員長** 地域社会を担い拓く人材が育つこと。

**問** 授業時数など子供た

ちの負担にならないか。

**教育委員長** 道徳や総合的な学習の時間を減じて、全体の授業時数に変更はない。

**問** 教員の長時間労働にどのように対応していくか。

**教育委員長** 各学校の研究のため、教員が1名ずつ増員される。勤務実態の把握に努め、長時間労働の解消を図る。

**問** 存続に向けて生徒確保が課題の住田高校の魅力化にどのように結びつけるか。

**教育委員長** 岩手県では、小・中・高連携による文科科学省研究開発学校の指定は初めて。本町が住田高校の魅力づくりに支援する学力向上や通学費の補助、給食提供の取り組みが県内外に知れ渡ってきている。更に魅力を高めることに結びつくことを確信している。

※文科科学省研究開発学校制度Ⅱ学習指導要領等現行の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編成実施を認める制度

その他の質問 — 多田町政4期16年の総括について



議員のつぶやき

自殺者が  
交通事故死の  
5.6倍以上とは…  
何とかしなければ…

# 自殺の防止策は

## 町長／30年度中に計画策定



△深刻な社会問題として対策が急がれる

**問** 平成28年全国の自殺者は2万1897人で、減少傾向にあるものの、人口10万人当たりで、岩手県は常にワースト上位にある。経済面、健康面など、未然に防止する対策が必要である。住田町の自殺対策をどのように考えているか。

**町長** 全国の年間自殺者は平成10年に3万人を超え、近年減少傾向にあるが、いまだに高い水準で推移している。20歳から39歳では自殺が死因の1位となっており、深刻な社会問題となっている。

本町では、自殺対策として、リーフレットの全戸配布や研修会の開催、相談・訪問ケアセンターが訪問する。

事業など心の健康づくり対策をすすめている。平成30年度中に自殺対策計画の策定に向け取り組んでいく。

**問** 自殺対策で相談・訪問・研修を実施しているが、どのような活動をするのか。

**保健福祉課長** 一次予防として、リーフレットの全戸配布。周囲の方々の異変に気づいてくれる方を養成するゲートキーパー養成講座を民生児童委員、保健推進委員、一般の町民の方々を対象に開催する。

二次予防として、民生児童委員・保健推進委員からの情報を受け、訪問・相談にあたる。心配な方には、心のケアセンターが訪問する。

**問** 昭和橋の架け替えは、3月議会で、「今まで積み上げてきた考え方、ルートや町全体の財政見直しを含めさまざまな観点から検討が加えられていくものと捉えている」としていたが、どこまで計画が進んでいるか。

**町長** 防災、安全を基本とし、議会での提言、意見交換会で出された意見・要望、役場での意見交換など、中心地域活性化構想による町づくりにしたい。

**問** 昭和橋の架け替えは、くりとの整合性、景観との調和、通学路、交通安全、公共交通施策、費用負担面など、今まで積み上げてきた議論の内容について、整理点検し検討を進めている。

**問** ルートや規模を決定し、県が調査・設計に入るように、いつごろまでに決定するのか。

**建設課長** 今年度中にとりまとめ、県が動けるようにしたい。

### 昭和橋調査・設計いつまで

#### 今年度中にとりまとめ



△昭和橋 — 防災に備え安心・安全な橋を

**問** 学校は安全で快適な学校生活を送ることが大切だが、本町のいじめの実態は、

**教育長** 本町の状況は、ケンカなどを含めた認知件数は、昨年度町内全体で数十件の報告があった。いじめとしての重大案件や調査の中で特記された各学校の案件はない。





議員のつぶやき

浴岸と水沢江刺駅を結ぶバス運行が必要だと考えている。

# 我が町政を問う

菅野 浩正 議員

## 町長／「アンケート調査」実施

### 路線バスの維持対策を

**問** 利便性のある交通手段の確保、住民満足度の向上を目指していることから、今後の路線バスの維持対策をどのように考えているか。

**町長** 時間帯によっては一日平均の利用者が一桁にとどまっている状況にあり、路線バスを維持するには、利用者の増加が不可欠となっている。町営のコミュニティバスも、輸送人員、運賃収入とも減少傾向にある。

**問** 地域交通の確保を図るとしているが、その対応スケジュールはどのようなになっているか。

**町長** 今年度は「交通対策



△町民の移動手段として必要不可欠な路線バス

アンケート」を全町対象に実施する予定であり、7月実施に向け、現在の設置項目について詳細を検討している。

**問** 高齢者の交通対策をどのように考えているか。

**町長** 高齢者の移動手段の実態も明らかにしたいと考えており、高齢者に特化した

たものではなく、地域全体としての交通対策を検討していくこととしている。

**問** 岩手県交通が運行している中井線で、川口中井間の廃止計画は正式に提案されているか確認したい。

**町民生活課長** 昨年度、撤退の意向があるということは聞いていますが、今年度に入って、正式には伺っていない。

**問** 広域的に連携して公共交通会議を開催し、都市間交通のあり方など、これからの交流人口の拡大に向けた交通手段も必要では。

**町民生活課長** 県でも全県の視野に立った公共交通の

### 拠点づくり 進捗状況は 各地区で取り組み進む



△下有住の拠点となる下有住地区公民館

再編と活性化策を打ち出すということも伺っている。情報も見ながら町で出来ることをやっていきたい。

**問** 小さな拠点づくり、各地域の計画の進捗状況は。

**町長** 4月下旬に地域おこし協力隊、集落支援員を対象とした、小さな拠点づくりの説明会を開催し、運営主体となる地域協働組織の設立、運営資金となる地域交付金などについて共有を図った。

5月には中間支援団体である一般社団法人邑サポートと担当職員が各地区を巡回し、各地域の状況把握と相談対応を行っている。

**問** 予算運営など実態はどのようなになっているか。

**町長** 地域交付金の申請状況は上有住地区、下有住地区が申請し、取り組みを始めています。世田米地区は申請準備が進められていると把握しています。

五葉、大股地区は、6月下旬に地域協働組織の設立と合わせて地域交付金申請の準備が進められるものと捉えている。



議員のつぶやき

率先して責任を明らかにする姿勢が必要

# 残任わずか 木工事業体にどう対処

## 町長／任期中に道筋決める

多田町政は、任期満了まで残り1か月半となった。

4期16年間の町政運営を振り返り、どう捉え考えているか。

1期目は、市町村合併に対する自立・持続の判断。2期目は、県立住田病院の休床化。3期目は、東日本大震災と後方支援。4期目は、新庁舎落成と木工事業体貸付金の償還問題などがあった。

5地区で説明した経営再建方針は上手くいったという事か。

町長が昨年11月に議会や5地区で説明した経営再建方針は上手くいったという事か。

新庁舎落成以降は、消防住田分署、昭和橋架け替えなど中心地域活性化構想区域内での整備事業と併せて検討を進めている。

今後益々人口減少が進む中、基礎自治体としてどのようにあるべきと考えるか。



△交代間近な町長席  
一課題の先送りは避けるべき

経営再建方針は、2事業体理事者と協議し見通しはついてきている。私の任期中に道筋を決めたい。

施設利用面で関連があるため併せて検討する。

新中央公民館図書室

## 上有住地区公民館 早期改築を 具体化図る



△上有住地区公民館  
一老朽化と使いにくさが指摘されている。

上有住地区公民館の改築整備をいつ、どのように進める考えか。

新庁舎落成以降は、消防住田分署、昭和橋架け替えなど中心地域活性化構想区域内での整備事業と併せて検討を進めている。

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

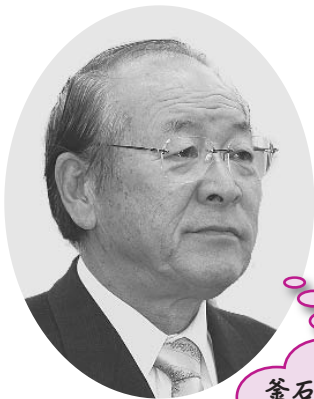
町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ

町長の残任期間もあ





議員のつづやき

釜石住田線は、  
五葉地区民にとっては  
命をつなぐ  
道路です

# 釜石住田線改良早期に

## 町長／県当局と直接意見交換

我が町政を問う

はやしきさちまさ  
林崎幸正議員



△道幅が狭く、すれ違いが困難な県道釜石住田線

**問** 県道釜石住田線は、五葉地区民にとって命をつなぐ道路である。小松中峠間と土倉滝観洞インターチェンジ間の未改良区間は、改良整備の見通しが立っていないが。

**町長** 路線全体の改良整備促進と併せ、区間を絞った改良整備促進の要望をしているが、早期の事業化は難しい状況。  
**問** 県に対する要望事項としているものの、優先順位は低く抑えられているが。

**町長** 岩手県に対する要望は、昨年度は9項目にわたり要望している。道路整備促進を始め、各般にわたり、重点項目を要望している。

**問** 町の最重要課題として、改良整備促進を県に要望すべきと考えるが。  
**町長** 道路整備促進については、特出しをしている。国道397号、国道340号と併せて、県道釜石住田線の未改良区間の早期改良整備は県当局と直接意見を交換している。

**問** 町民の健康維持、健康増進のために、プールも兼ね備えた温泉施設を整備すべきだが。  
**町長** 健康増進、健康寿命の延伸、生涯スポーツの推進及び介護予防、認知症予防など、運動は生活習慣病に大変有効的であるとされている。これまでも運動を取り入れた健康教室や、講座を実施し、取り組みの一つに温

水プールや温泉施設が加われば、町民にとって健康維持や増進が期待される。  
**問** 木質バイオマス利用の観点から、温水プールや、温泉施設の整備の考えは。  
**町長** 温泉施設は当地域では難しいが、木材の端材利用による温水プールは、検討に値すべき中身。近隣自治体の施設利用状況も考慮し、広域的視点を持って施設整備の計画をすべきと考える。

### 温泉施設の整備は

### 広域的視点で検討



△町政調査会で視察した丹波山村の温泉施設  
一住田町にもこんな施設が必要では



△出身地ごとのテーブルでふるさとを懐かしむ



△狭隘な農地で栽培される特産のじゃがいも

たばやま  
丹波山村

相互応援に

理解を深める

5月19日

丹波山村訪問

平成25年10月「災害時における相互応援に関する協定」を締結した山梨県北都留郡丹波山村を訪問しました。東日本大震災の際は、住田町内の仮設住宅に特産のじゃがいもを届けていただき

いたのが縁。丹波山村は、山梨県東北部に位置し、面積は101・30平方キロメートル。多摩川の源流・丹波川が東西に流れ、東京都民の大切な水ガメ奥多摩湖に注いでいます。全体の97パーセントは山林で、そのうち約7割は都有林です。人口約600人。村営温泉、特産品（マイタケ、わさび、鹿肉、こんにゃくなど）を扱った農林産物直売など、村民と行政が一丸となって明るく元気な村づくりを目指しています。村議会議員は8名。災害時の取り組みなどに理解を深め、今後の交流、友好を確認しました。

ふるさと住田会

ふるさとを繋ぐ大きな輪

5月20日

第16回ふるさと住田会  
賑やかに！

東京の「ホテルラングウッド」で、ふるさと住田会の集いが開催され、議長以下揃って出席しました。この会は2年に1度開催され、会員や関係者など16

0人程の出席でした。新会長には上宥住平沢出身の高橋清一氏が就任しました。出身地ごとのテーブルでは、昔懐かしい話題や思い出に、笑顔と楽しい花が咲いていました。アトラクションとして、世田米の「大平・梅ノ木剣舞」が披露さ

れるなど大いに賑わったふるさと住田会でした。この席で、町の魅力を伝える「すみた大好き大使」の委嘱も行われました。最後には、恒例の住田音頭の大きな輪を作り、再会を約束し幕を閉じました。



△参加者の大きな輪となった住田音頭



△交流・友好を深めた情報交換会（丹波山役場）



# 新しい組織へ

## 現 行

公職選挙法による選挙制 定数 16名

- 選挙による選出 13名
- 議会推薦 1名
- 農協推薦 1名
- 農業共済組合推薦 1名

平成29年3月2日施行

## 住田町農業委員会

### 農業委員

町長の任命制(議会の同意)

定数 8名 (推薦・応募)

農業委員の任命に同意

#### 新しく任命された農業委員

届け出順

( )は推薦農林業振興会

- 松田 秀樹 (両向)
- 紺野 幸男 (川口)
- 菅野 良一 (中沢)
- 吉田 繁喜 (新切)
- 阿部 昭男 (下在下)
- 佐藤 武雄 (坂本)
- 及川 恵美子 (商工会)
- 多田 まり子 (上在)

### 農地最適化推進委員

農業委員会総会で委嘱

定数 8名 (推薦・応募)

各地域で農地利用の適正化を推進

届け出順

( )は推薦農林業振興会

- 山内 米子 (上町)
- 佐藤 公也 (坂本)
- 佐々木 宏 (恵山)
- 菊池 充 (大股)
- 及川 良一 (天嶽)
- 菊田 功 (外館)
- 藤井 誠志 (五葉下)
- 千葉 上 (火の土)

住田町農業委員会の  
定数に関する条例

定数に関する条例

農地利用最適化推進委員が新設

農地利用最適化推進委員の  
定数に関する条例

#### ■提案理由

農業委員会の委員が公職選挙法による選挙制から市町村長の任命制へ移行され、その定数は条例で定めるものとする規定されているので、条例で定めるもの。

#### ■提案理由

農地などの利用の最適化を推進活動を行う「農地利用最適化推進委員」が新設されるもの。

#### ■提案理由

「農地利用最適化推進委員」新設により委員の報酬及び費用弁償の額を定めるもの。

費用弁償も

## 現 行

会 長 年額 323,000円

職務代理 年額 253,000円

委 員 年額 240,000円

農地利用最適化推進委員  
年額 240,000円

会 長 年額 323,000円

職務代理 年額 253,000円

委 員 年額 240,000円

# 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、一般質問のその後「どうなりました あの提言」として、過去の一般質問や議案審議などが町政にどう反映されているのかお知らせします。

掲載内容は、平成18年以降の質問から議会広報編集常任委員会で1項目を選び、その後の状況などを追跡しました。

特集

町と、議会と、町民は  
⑤9

質問

## 地域づくり団体 活動支援

地域住民が自主的に行う活動、団体への支援策は。

答  
弁

## 新たな町づくりに 予算化

地域活動、住民活動、新たな町づくり事業に支援、予算化する。

その後



△「ねんぷにやっぺしの会」企画会議の様子

一歩  
前進

## 15団体の実績

平成21年から29年までに、この活動支援を利用した団体数は15団体となっている。



環境衛生組合の動き

## 焼却施設 (煙突) 解体

大船渡地区環境衛生組合は、大船渡市と住田町の家庭ごみなどを収集し、中継処理した後、岩手沿岸南部クリーンセンターへの搬送業務を実施しています。

平成29年度予算総額は、2億6078万円。住田町の分担金は3199万円です。

今年度の主な事業として、平成23年から岩手沿岸南部クリーンセンターの本格稼働に伴い、大船渡市にある焼却施設(煙突)の解体工事が計画されています。



△解体される焼却施設(大船渡市猪川町)

# 追跡



## 私の意見を聞いて!



大正琴

一緒にやってみませんか

水野 勝子 さん

(世田米字西風)

大正琴を続けて今年で20年になります。その間、恩師石川先生が震災で亡くなられ、以後私達「かつこ花の会」として継続してきました。発足当時の会員は30数名でしたが、年々会員も高齢化し、現在は16名でやっています。

小中学生のクラブ、土曜教室のボランティア、そして私たちの練習で一週間があつという間に過ぎてしまいます。子供たちの希望者は増えていますが、一般の入会者が少ないのが悩みです。会を継続していくためにも、男女問わず入会者の募集をしています。貸出用の大正琴もあります。

## 傍聴に

来てけらっせん!!

次回の定例会は9月21日(予定)から  
開会は10時です。

詳しくは議会事務局へ **46-3754**(直通)  
E-mail gikai@town.sumita.iwate.jp

## 活動の継続 ねんぷにやっぺし

岩城 和彦 さん

(世田米字西風)



私たち「ねんぷにやっぺしの会」活動は、多くのご協力・ご支援を頂きながら、4年が過ぎました。地域の仲間・行事・話題などを取り上げ、住民の活動を広く伝える町民の町づくり番組「ねんぷにやっぺし」は51回を数えます。毎月企画会議を行い、町民が頑張る姿を、すみたテレビで紹介し、声が伝わるように心がけて制作しています。

何事も継続することが原点であり力です。メンバーの確保、取材機器の更新、寄付頼みとなつて活動資金の確保などの課題はありますが、町の今と暮らしを伝える、この活動を永く続けたいものです。



下有住字中上  
大苗 仁さん

# 河辺環境を生かした交流を

●今活動していることは

下有住中山の気仙川に架かる松日橋（一本橋）の保存と河川周辺の環境整備を行っています。その一環としてこの春、桜並木づくりと下草刈りの活動を地域住民と共に取り組んでいきます。河辺を生かした憩いと交流の場に作り上げたいものです。

●気になっていることは

昨年行われた国体デモスプレーにハマっています。簡単にならうで、奥が深く、手軽にできるスポーツです。みんな楽しんでみましょう。



△松日橋の河辺での桜植樹(平成29年4月8日)

## 私も ひとつ 甘口 辛口

78

上有住字恵蘇

佐藤 公子さん



# 企業誘致が大事

●今活動していることは

住田町食生活改善推進協議会で活動しています。今年のテーマは「糖尿病を予防する食事」ということで、6月21日早速地域で披露し、とても好評でした。同僚などから色々教わりながら、おやつや軽い昼食等を作り、よりあいカフェは、月に2回現在も楽しく

継続できています。

●議会や町に望むことは

町を眺めると歩いている人に会いません。子ども達の声も聞こえません。本当に深刻な過疎地帯と言えると思います。企業誘致がとても大事だと思います。地元企業で働くために息子、娘が帰ってくるのを期待したいです。



△自宅で楽しく「菜の花カフェ」を開催

## 表紙の写真

世田米保育園



6月15日、すみた荘において開催された、「ふれあいミニ運動会」に参加したぶどう組の子供たちです。

この日は、16人の子供たちが参加し、玉入れや綱引きなどの競技を、すみた荘に入所されている方々と一緒に楽しみました。園児の元気いっぱいな姿に、勝っても負けても、笑顔と歓声の絶えないとても賑やかな運動会になりました。

## あしがき

▼6月議会は、多田町長と論戦を交わす最後の定例議会。真剣に町の有り様を議論してきました。「自分の地域は自分でつくっていく」との基本理念のもと、4期16年間に苦勞様でした。

▼この議会だよりが町民の皆さんに届く頃は、新しい町のリーダーが決まっています。新町長とも、町を支え、動かす両輪として、住民の期待にそうすることができるよう「切磋琢磨」してまいります。

▼夏の高校野球岩手県大会開催式の選手宣誓は、住田高校の菊池飛我(ひづが)主将「仲間との絆の大切さに気付いた」との宣誓は、球児ばかりでなく、町民も感動しました。

▼この夏、猛暑が続いています。熱中症に注意を(佐々木春)

▼6月議会は、多田町長と論戦を交わす最後の定例議会。真剣に町の有り様を議論してきました。「自分の地域は自分でつくっていく」との基本理念のもと、4期16年間に苦勞様でした。

▼この議会だよりが町民の皆さんに届く頃は、新しい町のリーダーが決まっています。新町長とも、町を支え、動かす両輪として、住民の期待にそうすることができるよう「切磋琢磨」してまいります。

▼夏の高校野球岩手県大会開催式の選手宣誓は、住田高校の菊池飛我(ひづが)主将「仲間との絆の大切さに気付いた」との宣誓は、球児ばかりでなく、町民も感動しました。

▼この夏、猛暑が続いています。熱中症に注意を(佐々木春)

### 広報編集常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 菊池 孝  |
| 委員長  | 村上 薫  |
| 副委員長 | 佐々木春一 |
| 委員   | 菅野 浩正 |
|      | 瀧本 正徳 |
|      | 佐々木信一 |
|      | 佐々木初雄 |

### 発行責任者

議長 菊池 孝



すみた 議会だよりNo. 158

平成29年7月28日発行

発行/住田町議会  
編集/広報編集常任委員会

〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1  
TEL 0192(46)3754(直連) 内線511 FAX0192(46)2018  
http://www.town.sumita.wate.jp